

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M314M206	画像診断学 (Diagnostic Radiology)	専門科目 コース共通専門分野

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	2	2	後期	月・2	浅山 良樹、本郷 哲央、高司 亮、島田 隆一、手嶋 泰之、兒玉 雅明 内線：5934 E-mail：asayama@oita-u.ac.jp

【授業の概要・到達目標】

単純X線撮影や CT、核医学などの放射線を用いた検査法以外に、超音波検査や磁気共鳴検査 (MRI) といった放射線を用いない画像検査も含まれており、多くの画像検査が診断や治療へ応用されている。病態把握に必須とされ、診療側の期待が高い各種画像検査について、測定原理・検査の実際・正常および異常画像の評価などについて学修する。また、他の検査結果と総合的に判断できるよう理解を深める。

具体的な到達目標	ディプロマポリシーとの対応					
	1	2	3	4	5	6
1. 単純X線、超音波、CT、MRI、核医学検査の原理を説明できる	○					
2. 各種画像検査における主要臓器の解剖を説明できる	○					
3. 各種疾患の評価における最適な画像診断機器を提案できる	○		○			
4. 地域医療における画像診断機器の効率的な運用を提案できる。					○	

【授業の内容】

1	画像診断学総論：単純写真、CT、MRI、超音波、核医学診断の原理および特徴 (放射性同位元素検査技術学、放射性同位元素を用いた臨床検査) (浅山)
2	胸部画像診断学：胸部単純写真の見方、胸部疾患に対する高分解能 CT の役割 (高司)
3	消化器画像診断学：肝、胆、膵疾患の CT、MRI、核医学 (浅山)
4	泌尿器画像診断学：腎、副腎、膀胱疾患の CT、MRI、核医学 (高司)
5	生殖器画像診断学：子宮、卵巣、男性生殖器疾患の CT、MRI、核医学 (浅山)
6	骨軟部画像診断学：骨軟部疾患の CT、MRI、核医学 (本郷)
7	神経画像診断学：脳脊髄領域の CT、MRI、核医学 (島田)
8	循環器画像診断学：心大血管の CT、MRI、核医学 (本郷)
9	Interventional Radiology (画像下治療) の概念、歴史とその臨床 (浅山)
10	心臓超音波検査 1：原理と特徴 (手嶋)
11	心臓超音波検査 2：弁膜症など (手嶋)
12	心臓超音波検査 3：虚血性心疾患や心筋症など (手嶋)
13	腹部超音波検査 1：原理と特徴 (兒玉)
14	腹部超音波検査 2：上腹部臓器の評価 (兒玉)
15	腹部超音波検査 3：泌尿生殖器など (兒玉)

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	小テスト、ミニツツペーパー
B：意見の表現・交換	○	省察の為のコメントレポート
C：応用志向		
D：知識の活用・創造		

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	配布資料を基に必要に応じて参考書を用いて予習する (10h)。
事後学修	小テストや配布資料を用いて復習する (20h)。ミニツツレポートを作成する (15h)

【教科書】教科書は指定しない。

【参考書】西谷弘編、「標準放射線医学」医学書院 2011年、ISBN-10：4260005979

【成績評価方法及び評価の割合】						
評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	
小テスト・ミニツツペーパー、レポート	30	○	○	○	○	
最終試験	70	○	○	○	○	
【注意事項】						
【備考】						
教員の実務経験の有無	○					
教員の実務経験	病院医師					
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無						
教員以外の指導に関わる実務経験者						
実務経験をいかした教育内容	各種疾患の病態生理や病理学的所見に基づいた画像所見を実際の症例を用いて講義する。					
授業形態	対面を原則とする。必要に応じ Web (Zoom やオンデマンド) を活用する。					